

図書館報

ぶらっつ



篠崎

061号

江戸川まいにんぐ 発掘 第61回

レンタサイクル



江戸川区営の駐輪場に「eサイクル」というレンタサイクルがあるのはご存知でしょうか。「eサイクル」のeはEDOGAWA・ECO・EARTHの略で、自動車交通から自転車へと移行し、CO2を削減する環境社会の実現を目指すという意味が込められています。

江戸川区は平坦な土地が多いせいか、自転車利用がとても多いという印象です。その分、放置自転車問題も深刻であり、区では平成17年より放置自転車「0」を目指し、駐輪場の運営・放置自転車の撤去啓発・駅前の清掃等を一括で対応する総合自転車対策に取り組んでいます。駐輪場の有効な活用を目的として、平成21年より、レンタサイクルの社会実験を実施、平成25年より本格導入し、現在では1250台（電動含む）を配備、大きな反響を得ています。

レンタサイクルポート（利用できる場所）は11か所あり、篠崎図書館の下にある西口駐輪場もその一つです。「eサイクル」は通勤や通学等で利用する定期利用のレンタサイクルと、仕事や周辺レジャーなどへの交通手段として当日利用の2種類があります。区内在住・在勤の方に限らず、中学生以上で安全上支障のない方であれば、どなたでも利用できます。詳しい申し込み方法は江戸川区のホームページをご覧ください。また、レンタサイクルポートにお問い合わせください。

江戸川区の鉄道路線は全て東西方向のみで、南北へは行きづらいため、レンタサイクルを利用してはいかがでしょうか。また、『リフレッシュマップえどがわ』では、区内の公園や緑道、史跡などを巡る5km～11kmの10か所のサイクリングコースを紹介しています。これから新緑の季節となりますので、レンタサイクルで爽やかに区内を走ってみませんか。

イベント情報

講演会「“わかりやすさ”の罠にはまらないために ～ネット時代のテレビ報道～」

5月19日(日) 14時開演(13時30分開場)
講師：福田 裕昭 氏（テレビ東京執行役員報道局長）
場所：篠崎文化プラザ 講義室
定員：50名（事前申し込み制）
4月21日（日）14時より篠崎図書館カウンター
または電話（3670-9102）にて受付します。

誰でも簡単に最新のニュースにアクセスできる現在。便利な反面、不確かな情報に惑わされたり、「わかりやすい真実」を鵜呑みにしたりしてしまう危険も。そんな現在だからこそ、自分の頭で考えて情報の価値を判断することが大切です。「池上彰の総選挙ライブ」などの仕掛け人でテレビ東京執行役員報道局長の福田裕昭氏をお招きし、ネット時代の新たなテレビ報道について語っていただきます。

P2～P3 特集
「自転車に乗って」

P1 江戸川まいにんぐ
「レンタサイクル」

P4 そのメロディに魅せられて♪
「君繫（キミツナギ）ファイブエム」

P4 スタッフのセレクション
「ジヴェルニーの食卓」

江戸川区内のイベントやスポットを、スタッフが調査して身近な情報をお届けする、地域密着型のコーナーです。



篠崎駅のレンタサイクル。後ろカゴ付きもあります。



電動アシスト自転車も借りることができます。



江戸川の河川敷。風が気持ちよいです。

参考資料

『リフレッシュマップえどがわ レンタサイクル編』
えどがわ環境財団編 えどがわ環境財団
K1-29 篠崎ほか所蔵

江戸川区ホームページ
【eサイクル(レンタサイクル)】
https://www.city.edogawa.tokyo.jp/kurashi/kotsu/e_cycle/index.html

協力：江戸川区土木部 施設管理課 駐輪対策係

そのメロディに魅せられて

『君繫(キミツナギ)ファイブエム』 アジアン・カンフー・ジェネレーション
篠崎ほか所蔵 K1ア04001

2003年に発売された、アジアン・カンフー・ジェネレーション、通称アジカンの1stフルアルバムです。現在では日本を代表するロックバンドですが、これはその原点ともいえる作品が収録されている、アジカンを知るためのCDだと思います。抽象的な歌詞に、メロディアスな旋律、

そしてライブのような曲と曲との繋がりがとても印象的です。特徴的なジャケットはイラストレーターの中村佑介が描いていて、今やアジカンのジャケットの代名詞となっています。見て聴いて楽しむアジカンの世界をご堪能ください。

スタッフのセレクション!

篠崎図書館スタッフが選んだ
おすすめ本を紹介します。

『ジヴェルニーの食卓』 原田 マハ著 集英社 Fハ 篠崎ほか所蔵

この本はフランスの画家アンリ・マティス、エドガー・ドガ、ポール・セザンヌ、クロード・モネの4人を主題とした短編集です。各話が画家本人ではなく彼らの周りにいる人物の視点で語られており、芸術家とその芸術作品を客観的に描写しているのがとても印象的です。

例えば、アンリ・マティスを主題とした「うつくしい墓」では、主人公のマリアがマティスの家政婦として仕えていた頃の思い出を語ります。絵を描くのが好きな孤児だったマリアは非凡な審美眼をもっていました。「描く」よりも「見る」ことで、自身の運命を大きく変えていくこととなります。巨匠マティスに認められ、彼の創作活動を間近で感じるマリア。その瞳を通して語られる世界はとても色鮮やかで、まるで彼女が見た世界を疑似体験しているかのように感じて、思わず鳥肌が立ってしまいます。

そして間接的に物語に絡んでくる登場人物がこれまたビッグネームです。パブロ・ピカソなど、誰もが知っている芸術家が物語の隅にさらっと出てくる展開も胸を熱くさせます。実在した人物や作品が登場するからこそ感じる物語のリアリティも、この小説の魅力だと思います。芸術が好きな人も、興味がない人も、原田マハさんが描く素敵な登場人物や芸術作品に心奪われること間違いなしです。



編集後記

お正月から太りっぱなしなので、自転車に乗りまくって痩せようと思います。(風雲ふわふわ丸)／暖かくなったら、綺麗な水が流れる川に行きたいです。(ぱるめりん)／先日、自転車を運転中にくしゃみが止まらなくなり、前進もままならない事態に。交通安全にはくれぐれも気を付けます。(モシャリー)

編集・発行：江戸川区立篠崎図書館

住所：〒133-0061

江戸川区篠崎町7-20-19 しのぎ文化プラザ内

TEL：03-3670-9102

[しのぎ文化プラザホームページ]内篠崎図書館ページ

<https://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library/>